



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス

News Letter

2019年9月 VOL.9

HPQRコード



発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局
TEL&FAX 024-548-3711
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1

E-mail office@pandahouse.org
HP <http://pandahouse.org>
facebook <https://facebook.com/npo.panda.house>

～ご挨拶～

副理事長 古満陽子



今年は長い梅雨となり、冷夏で桃は大丈夫だろうかと心配した予想はずれ、福島ならではの夏である猛暑となりました。太陽の力強い日差しを受け深い緑に囲まれたパンダハウスは、ボランティアの皆さまに毎日行っていただき掃除や、花植え、草むしり・草刈りをしていただき、美しさを増しています。

「居室7部屋」、「みんなのほーる」、「相談室」が出来上がってから1年以上が過ぎました。闘病されているお子さまとご家族に、ハウスを長期的にご利用いただくことが出来るようになりました。病気と共に地域で暮らすお子さまとご家族にも、「みんなのほーる」をご利用いただく機会が増えています。また、当会

の活動として、お子さまの成長に応じて長期的な支援と一緒に歩ませていただくために、各分野の支援者の方とつながりをもって応援の輪を広げています。

パンダハウスにとって、この数年間は激動の時であったと感じています。しかし、パンダハウスを必要としているお子さまやご家族、そして、応援して下さる方は変わらずいらっしゃいます。今年度も、いつもの年と同様、パンダハウスの運営はもちろん、チャリティーバザーの開催、クリスマスプレゼント作成などをはじめることが出来ました。これもひとえに、継続して支えて下さる多くの皆さまのやさしさとお力添えがあったからこそです。

これからも、パンダハウスをさらに大きく育ててくださいますよう、お願い申し上げます。



～応援の輪が広がっています～

～公開座談会inいわき～

3月24日(日)いわき市総合保健福祉センターにて、公開座談会inいわき「子育てを地域で支える仕組み」を実施しました。子どもが安心して暮らせる地域づくりに貢献するボランティアグループや市民活動団体、NPOをもっと市民の皆さんに知っていただくために、5名の方に日頃の活動をお話いただきました。様々な活動を展開するグループや団体が垣根を越えて協力し、支援の輪が広がっていくことを願い開催しました。



～「みんなのほーる」を活用!～

「ママの健康を考える ホットー息くつ3ゼデー」 inパンダハウス を開催

6月15日(土)NPO法人キープ・ママ・スマイリングさんが2018年4月にスタートした全国の小児病棟で入院中の子どもに付き添う、また自宅で病気の子育てる家族を美味しい料理で応援するプロジェクトに、パンダハウスも協力させていただきました。米澤文雄シェフが自ら発案された4種類の缶詰を使ったライブキッチン、試食会が行われました。どれも簡単に作れる美味しいメニューで、小さなお子様も完食するほどでした。参加者によるアレンジメニューコンテストも行われ、多くのアイデアが提案されました。パンダハウスに米澤シェフとキープ・ママ・スマイリングの皆さんのあたたかい気持ちが吹き込まれ、笑顔はじける素敵な一日となりました。



利用者の声

小児腫瘍内科で闘病中の息子と一緒に宿泊しました。病棟内を歩くだけでも疲れたと言っていたのに、パンダハウスでは一緒に料理を作ったり食べたり、病気の治療中とは思えないほど元気なはつらつとした姿に驚きました。本人も「最高の一日だった!」と嬉しそうに話していました。

付き添いの私もゆつくり休むことが出来、このようなサポートがあることに感謝します。

子どもの急な入院で気持ちも身体も落ち着かない中で利用させていただきました。くつろげる空間で少しほっとしながら過ごすことができました。あたたかい食事とお風呂をいただき、身体も元気にしてもらいました。ありがとうございます。しばらく会うことができなかった子どもたち(きょうだい)ともパンダハウスで遊びながら会えて良かった、本当に助かりました。

二男が心疾患でNICUに会津から転院してきました。心臓カテーテルの予定もあり、母乳も届けなくてはいけないので5泊6日でパンダハウスを利用させていただきました。

産まれてまだ3週間、不安で押しつぶされそうな時でしたが、パンダハウスに宿泊して、温かくおだやかな気持ちになれました。ここには同じ境遇のご両親がいるんだろうなあと考えると、一人じゃない、家だけじゃないんだ、頑張って向き合おうというポジティブな気持ちにきりかえることができました。朝早くから夜遅くまで病院にいたためスタッフの方に会う機会は少なかつたのですが、小物一つ一つに愛情のこもったパンダハウス、本当に大好きになりました。また機会があれば、ぜひ利用したいです。



活動報告(2019年3月~8月)

~ボランティアさんと共に活動しています!~

~ボランティア募集説明会・交流会を開催しました~

第1回:3月23日(土) 福島市中央学習センター
第2回:7月20日(土) パンダハウス

初めにパンダハウスの施設や活動を紹介し、ボランティアで活動していただく内容について、写真を交えて説明しました。その後の交流会は和やかな雰囲気で行われ、ボランティア活動の中での思い出や今後の活動についての意見交換が行われました。



福島市中央学習センター



パンダハウスボランティアルーム

~パンダハウス花壇の花植えを実施しました~

実施日:5月18日(土)

ボランティアの皆さんにご協力をいただき、ハウスの花植えを行いました。当日は朝から晴天に恵まれ絶好の日和となりました。あじさい、マリーゴールド、ジニア、日々草などかわいらしい花たちが、ハウスを利用する皆さんをお迎えしています。



◇第4回 川内の郷かえるマラソンに出店しました◇

開催日:4月30日(火・祝日) 雨の中、多くのマラソンランナーの方々が参加されていました。パンダハウスの出店場所はゴール前付近だったこともあり、走り終えたランナーの皆さんをお迎えすることになりました。パンダハウスを応援くださる方々との再会、また多くの皆さんにハウスを知っていただくことができました。



～パンダハウス恒例のチャリティーバザーを開催しました～

6月28日(金)、福島県立医科大学会津医療センターにてチャリティーバザーを開催しました。あいにくの雨模様でしたが、沢山の方にお越しいただき、手作りバッグや食器・衣類などの日用品や雑貨品が人気でした。



また8月6日(火)・7日(水)の2日間にわたって開催された福島県立医科大学附属病院でのバザーでは、毎回大人気の手作りバッグのほか、手作りの子供服、アクセサリー、フラワーアレンジメント、石鹸、小物など、多くの商品をお買い求めいただきました。おかげさまで両会場ともに大盛況で、パンダハウスの活動を知っていただける機会となりました。



福島県立医科大学会津医療センター様、福島県立医科大学附属病院様、ご協力いただき誠にありがとうございました。また、商品をご提供して下さった方々、お手伝い下さったボランティアの皆さん、ありがとうございました。

～リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019ふくしまに参加しました～

8月11日(日)～12日(月)あづま総合体育館にて「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019ふくしま」が開催されました。今年は記念すべき10回目となり、もう一度、3つの使命(想い)「Celebrate祝う」「Rememberしのぶ」「Fight Back立ち向かう」を胸に刻むイベントとなり、私たちも取り組みの原点に立ち返り多くの方々と絆を深めました。



～クリスマスプレゼント作りが始まりました～

今年度のクリスマスプレゼント作りが6月より始まりました。毎年多くのボランティアさんにお手伝いをいただいております。昨年お渡ししたプレゼントも子供さんやその家族の方に変えていただきました。子供たちの喜ぶ顔を思い浮かべながら、ボランティアの皆さんと一緒にプレゼント作りに励みたいと思います。



～パンダハウスボランティア活動の思い～

ボランティア 黒澤 喜代子



光陰矢の如し、平成15年頃でした。花壇の奉仕作業に参加致しました。なにも知らないで出掛けましたら、大勢の皆様が夢中になって花壇の花植えをしておりました。私は、雑草もありましたので植えやすいように耕しました。みるみるうちに美しい花壇になったことを覚えています。花壇の手入れがボランティアのきっかけとなりました。活動日は月曜日のみで今現在も定着しております。おもに部屋やトイレ清掃が多いです。前のハウスは古くなり取り壊されてしまいました。昨年からは新しいハウスになっておりますが、備品の位置がまだ慣れてないところが沢山あります。頑張りたいと思います。ベッドメイキングや部屋を整えておくと、利用者さんにとって喜んでいただけるのではないかと常に心の中は、安堵しています。利用者のみなさんとお話はできませんが、

微々たる活動で自分の心の支えになっています。終了後のお話し合いもあり、お昼までのボランティアです。次にパンダハウスの関わり合いでは、「がん患者支援チャリティーイベント・リレー・フォー・ライフ・ジャパン」がんと闘う方々の勇気を称え、がん患者と共に歩き続けることで一丸となつてがんと闘う主趣です。本年度も要項案内をいただきましたので、参加します。今までは、あづま陸上競技場でしたが昨年からは体育館の中で行われます。各団体の参加が多いにおどろきです。休憩なしで歩きます。私の主人は、がんで亡くなっていますので少しの力になれるよう毎年参加し協力したいと思っております。目にみえない活動ですが、利用者の皆様が気持ちよくすごせるように祈っております。スタッフの皆様、これからはお世話になります。今後も微力ですが健康で運転できるうちは、活動したいと思います。



福島県議会福祉公安委員会が視察されました

5月16日(木)福島県議会福祉公安委員会の皆さまがパンダハウスへ視察にお越しになりました。委員の皆さまには闘病中の子どもやご家族の状況にお心を寄せていただき、熱心にご質問、ご意見をいただきました。その後、ハウス内をゆっくりとご見学されました。

入院中の子どもや地域で病気と共に暮らす子どもたちの生活や成長について真剣に向き合ってください、ありがたい機会となりました。



今後の活動予定(2019年9月~12月)

~これからもご支援
よろしくお願ひします~

●健康フェスタ2019へ参加	9月8日	●会津バザー	10月5日
●羽鳥湖畔マラソン大会へ出店	9月8日	●花植え	11月
●いわきバザー・ミニ座談会	9月14日~15日	●第9回総会	11月
●子育て支援活動応援フェスタ参加	9月21日	●クリスマスプレゼント配布	12月

私たちの活動は、会員会費と皆様からの寄附金およびボランティアによって支えられています

賛助会員加入と寄附金のお願い

私たちの活動に賛同し、応援して下さい「個人」「企業」「団体」を募集しています。また、寄附金を募っています。
当団体は認定NPO法人であり、寄附による税制優遇が受けられます。個人は一定限度内で寄附金額に応じた所得控除もしくは税額控除が受けられます。法人は一定限度内で寄附金に応じた損金算入が認められます。

●賛助会員 年会費

個人(1口) 3,000円(1口以上)
団体(1口) 10,000円(1口以上)

●年会費・寄附金の振込先

郵便為替口座

口座番号:02200-9-110330

口座名義:認定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会

*他金融機関からの郵便振替の場合は

店 名:二二九(二ニキュウ)店

当座預金:0110330

募金箱設置のお願い

募金箱を設置して
いただける所を募集しています。
私たちは300箇所を
目指し活動しています。

2019年8月現在
210箇所



募金箱を設置していただける施設・店舗・学校など
ご紹介ください。

ボランティア活動に ご参加ください!

パンダハウスは365日活動しています。
初めての方も大歓迎、作業内容や参加日程、頻度はご相談に応じます。

毎月、第1土曜日はボランティア体験日です。
まずは、電話またはメールにてご連絡ください。

TEL&FAX 024-548-3711 E-mail office@pandahouse.org

●ハウスのお掃除(毎日 午前10時~12時)

居室、リビング、ほーる、キッチン、浴室、トイレなど
のお掃除です。



●バザーのお手伝い、出店など

●パンダバッジ作り



(利用された皆さんに差し上げています)

スタッフの紹介



本年5月から事務局スタッフとしてお世話になっています。利用者さんが心地よく過ごせるもう一つの我が家として安心して利用できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(佐藤 義春)

理事長:山本 佳子

副理事長:古溝 陽子

理事:石井佳世子/伊藤五十子/末永 幸恵/千葉 篤子

監事:齋藤 敏昭/陽田 秀夫

アドバイザー:梅津 茂巳/菊田 敦/菊池 健一/佐藤 崇

芳賀 裕/横田 照彦/渡邊美恵子

ハウスマネージャー:津田 郁子/萩原智恵子/齋藤 瞳/佐藤 義春

いわき地区担当:飯田 教郎

相談員:森 千香子

*このNews Letterは日本財団の
助成金により作成しています。

Supported by
 日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION